



今年も酷暑の夏でした。蒸しかえるような熱気の中、9年生は恒例の鍛金実習。横浜では10周年記念の改修工事が保護者ボランティアの手で行われ、霧が丘校舎の室内の壁が美しく蘇りました。それぞれの夏を過ごし、充実の2学期を迎えました。

開校 10 周年記念 校舎改修工事

今年度初めに披露された保護者、関係者有志による「横浜シュタイナー学園開校秘話」の寸劇の中で、ボランティアの手によって校舎が出来た歴史が演じられました。すでに「ボランティア工事」は伝説と化しています。

そこで、「伝説のボランティア工事を自らの手で！」を謳い文句に、10周年記念企画の一環として夏休みの8月1日・2日に、最も長く使われてきているオイリュトミー室と1,2年生教室、階段腰壁の壁塗装作業を行いました。予想以上に多くの低学年のお父さん方が駆けつけ、活気溢れる雰囲気と猛烈な暑さの中、色あせていた教室の壁は見違えるほど瑞々しく、美しくなっていました。

また、本作業に先立って7月30日・31日には養生の作業がありましたが、ここでは7年生の有志が6名参加し、楽しそうに手伝ってくれました。

開校11年目に新たな「ボランティア工事伝説」が生まれた！と感慨もひとしおです。参加して下さった皆さん、有難うございました。そしてまた来年、再来年と、次々に教室を美しくしていきましょう！以下、参加したお父さん方の感想をご紹介します。

(6年生担任 長井麻美)



学園10周年のボランティア工事に、参加させていただきました。8月1日(土)、8月2日(日)は、1,2年生の教室、オイリュトミー室、階段の壁の、壁塗り作業をさせていただきましたが、水彩の壁塗りは私にとって初めての体験で、特に仕上げ用の水彩塗料の塗り方、延ばし方が結構難しく、2人ペアで行うものでしたが、かなりの集中力で本気モードになっていたと思います。

高学年、中学年のお父さん、お母さん方はもちろん、1年生、2年生の低学年のお父さん、お母さん方も大勢参加されており、みなさんとの交流も深まった様にも思いました。「良きものに携わるもの同士は、より良きものに導かれていくものなんだなあ〜！」と、感激しきりのひと時でした。

みなさん本当にありがとうございました、そしてこれからもよろしくお願い申し上げます。

(1,4年生保護者 高野啓二)

修繕の日は、日差しも強く気温も高い二日間でした。朝から脚立を担いで参加者が集まってきました。校内はすでに前日までの作業で養生がされていました。スイッチのプレートや電球やカバーを外したり、窓枠や床をマスキングとシートで覆うのはとても大変な作業だったと思います。そのおかげで塗装はすんなりと進み、予定になかった階段も上から下まで塗ることができました。本当にきちんと下準備をして頂いたおかげです。ありがとうございました。

一日目は全てを白い下地塗料で塗りました。真白になった教室は、普通のマンションの一室みたいになってしまいました。

二日目は色付けです。刷毛で色を拭き上げながらぼかすのですが、思ったより壁に吸い込まれてしまったりして難しいものでした。作業を始めると、白く無機質だった壁のところどころから色が立ち上がってくる感じがして、部屋の空気が暖かくやわらかく変化していきました。何人もで塗っているので、作業している人によって雰囲気の違う壁面になりました。それを最後に1人2人で整えて、それぞれの場所に合ったように落ち着きました。

塗り終えた校舎は10周年の区切りに再び気が満ちた感じがしました。最後は予定になかったエアコンフィルターを洗ったり、雨水マスの周辺の整備やカーテンレールの修繕、取付など作業して、二日間の修繕を終了しました。

(2年生保護者 鶴賀啓太郎)

* 9年生鍛金実習 *

硬い銅板を切り出し、炎で熱し、希釈した硫酸につけ、ひたすら叩いて伸ばし、形作っていく。その行為は、物事を中心部から捉え・あたため・広げ育てていくシュタイナー教育と似ている。そんな風を感じました。

7月21日・22日、1日お休みがあり、24日・25日と4日間、藤野のシュタイナー学園に通い、鍛金実習を行いました。クラスの皆が片道1時間半はかかったと思われそうですが、一番遠い娘は、開始時間9時の3時間半も前に家を出ました。ものすごい暑さが続いていましたし、通うだけでもヘトヘトになり体調崩すのではないかと心配していましたが、帰って来るなりその日の作業や講師の日比淳史先生（金属造形家）のことを話してくれる姿は、あまりにもピカピカ光っていて、思わず笑みがこぼれてしまいました。そして休み時間にはみんなでバスケットをしてると…！！若者の体力に呆然。中一日あるお休みの日でさえ、今日も行きなかったと言っていたくらいです。作業への集中力と、日比先生への尊敬の気持ち（日比先生の態度や教えがまるで銅板を叩くリズムのように、心地よく子どもたちの心に響いている）が、娘からあふれてくるのが伝わりました。帰りを迎えただの家庭でも、同じような時間に同じように感じていたのではないかなあと想像すると、ますますにんまりしてしまいました。

怪我で参加できない子もいました。作業途中で穴が空いてしまい作り直した子もいました。早く仕上がった子、ラストスパートで駆け抜けた子。それぞれがそれぞれの体験。同じ作業でも同じものは1つもない。でき上がった器が、まさにそれを表していました。ピカピカ光っていた娘のように、器も美しく輝いているのが、なんだかとても嬉しいのです。

作品だけではなく、子どもたちの心や体験の隅々までピカピカにしてくださった日比先生に心からの感謝を。ご協力くださった藤野の保護者・生徒の皆さんに心からのお礼を。ありがとうございました。

(9年生保護者 折田清美)



完成した生徒の作品



～9年生生徒の感想～

7月の4日間、9年生は藤野の吉野校舎（高等部の校舎）をお借りして鍛金実習実習に行ってきました。…の、予定でしたが、わたしは初日に体調を崩し、1日お休みしてしまいました。なので残りの3日間は焦りに焦って銅板をカツカツとたたき続けました。2日目（他のみんなは3日目）にやっと銅板をたたく時の角度“いわゆるコツ”をつかみ、とにかく完成に近づけようと必死にたたき、手が痛くなる程でした。そして、いよいよ3日目。目標の形にはたどり着くことは出来ませんでした。終了時刻まであと5分！という中で、あたふたと底を作り、刻印を打ち、表面を磨き、みんなの器と共に並んだわたしの器は、少しせわしなさの伝わってくる様な物で、他の器よりも表面の輝きが鈍く、形も違う。ですがわたしの中ではこの3日間、迫ってくる最終日から逃れようとしていても、正直に言うとなんか楽しいなとずっと思っていて、短くも長くも感じた思いつく深い3日間でした。

(飯島陽良)

ぼくは鍛金実習に、最初はあまりノリ気ではありませんでした。ラグビーの夏合宿と一部がかさなっていたし、4日間も同じ事をくり返すのは嫌だと思っていたからです。でも、鍛金を教えてくれた日比先生と話してみると、少し楽しそうだと思えてきました。日比先生は最初に「座学じゃないんだし、お互いコミュニケーションとりながらやっぺいこうぜ。」と言っていました。ぼくは今までみた事がないような少しくだけた感じの先生だなぁ、と感じたのが印象に残っています。あと、すごくミンティアのようなおいがしました。しかし、銅をうった時の音は何か違うと感じさせ、さすが！と思いました。最初は“面白くない”と決めつけていた鍛金も日をかさねるごとに“面白い”と感じるようになっていきました。ぼくが鍛金で一番面白いと感じたのは器を熱して硫酸につける「焼きなめし」です。3日目の途中で上手く器にならずあせりましたが、なんとかできて良かったです。

(岩田悠吾)

校内研修「教師と保護者で考える子どもの健康なくらし」

9月12日(土)午前中、保護者にシュタイナー教育の学びを深めてもらうことを目的として年に2回行っている校内研修の第2回目が行われました。

今回はメディア機器、「テレビ」「パソコン」「携帯電話及びスマートフォン」について10のグループに分かれてそれぞれが劇仕立てで自分たちの考えるところを表現しました。今回は入場の際に前回参加した方々に同じグループで集まっていたいただき、そこに今回初参加の方々が何人ずつか加わる形で7つのグループに分かれました。最初は前回の各グループでどんな内容の劇を考えたのかを紹介していただきました。それから今回の7つのグループに上記の3つのアイテムについて「問い」を考えてもらい、その「問い」に対する「解決策」を話し合ってもらいました。そして最後は全員でそれぞれの話し合いの共有をし、意見を出し合いました。

最後の話し合いでは高学年の保護者から「この教育の方法で子どもを育てたいと願いつつも100%それを実行することは難しく、最終的には各家庭の状況で祖父母などとの関係を円満に保ちながら子どもの健康を最大限守る措置を保護者の責任で行うしかない。」という意見が出されました。また、「大人が学校に対して裏表を使い分けるような態度を子どもに見せてはいけない。」や「現代は誰もが何についてもすぐに答えを知りたいと思い、分からないままにしておけない時代になっている。」という意見もありました。提出して下さった感想の中には「自分の生活を振り返る機会になった。反省し理解し実行したい。」「他の学年の保護者の本音の話が聞けてとても良かった。大人のこういう真摯な話し合いが子どもたちに伝わることを願っている。」「子どもの成長について改めて考える機会になった。」「何が、何故大切なのかを自分自身が考えて行動することが何よりも子どもたちに良い影響を与えるのだと再確認した。」などがありました。

大きな感動を伴って一段一段階段を上るようにシュタイナー教育は進んでいきます。その子が今どの段階なのかは教師も保護者も子ども一人一人を見つめてよく考えなくてはなりません。忙しい毎日の中で子どもの教育について迷い、悩み、考え、立ち止りながらも善きものに向かって諦めずに一步一步進んで行くことは簡単ではありません。特に教育方針の違う人と意見がぶつかる可能性がある、それを避けるために仕方がないと自分の意見を言うことを諦めるかもしれません。それが親類や友人だったらなおさらでしょう。しかし、そういう大人の心のあり様を子どもたちは見えています。子どもの時には分かりませんがずっと後になって、自分の健康を大人が真剣に守ろうとしたか、諦めたかを子どもは思い出すでしょう。そしてその大人の姿勢を模倣して生きている自分に気づくかもしれません。

子どもの周りにいる大人たち全員が子どもにとって教師です。子どもを育てると同時に私たち大人は自分自身をも育てなければなりません。人間は一生成長することができる存在です。ですからどうぞ考え、悩んで自分たちにとって一番の答えを見つける努力をしてください。そしてそれを教師と共有してください。その子とその子の家庭にとって何が一番良いかを毎日の学校での子どもの様子を見ながら教師はアドバイスできます。同じクラスの子どもでも教師からのアドバイスは違うかもしれません。

誰一人として同じ子はいないのであります。

【参考図書】『メディアにむしばまれる子どもたち—小児科医からのメッセージ—』 田澤雄著作 教文館

(1年生担任 神田昌実)



～保護者からの感想～

今回初めて校内研修に参加しました。前回参加していなかったので流れがわからないかと心配しましたが、前回のシェアの時間もしっかりとって頂いたので、良かったです。

子どもたちに対してメディアをどう扱うかについては、ルールだからというだけでは、子どもたちを縛る事は難しいのは、みなさん同じ様に経験されていると思いますが、改めて時間をとって考えたり、他の家庭の考えを聞いた事はとても勉強になりました。親の立場、子どもの立場、先生の立場、個人の立場、集合体としての立場、様々な意見が聞けて良かったと思います。

結局、子どもは親の反映ですので、頭ごなしに押し付けるのではなくメディアに対してどう向き合うかは、親の姿勢の問題なんだと改めて思いました。

また、理想と現実の問題も子育てではよくあって、頭ではわかっていてもなかなか実践出来ないものの一つだと思いました。そういったこともシェア出来て良かったです。

(2年生保護者 坂田辰男)

インフォメーション

連続講座

「シュタイナーの人間観・宇宙観」

日時：第1回～4回は終了しました

第5回 10月25日(日)

第6回 12月13日(日)

14:00～16:00

講師：不二陽子先生(シュタイナー学園教員)

場所：十日市場校舎

参加費：2,500円(NPO会員2,000円)

連続講座

「建築の歴史」

日時 11月5日(木)

2016年2月3日(水)

10:00～12:00

講師：岩橋垂希菜氏(シュタイナー建築家)

場所：霧が丘校舎

参加費：2,000円(NPO会員1,500円)

※終了後、ランチ会もあります

茶話会／校内見学会

学園の雰囲気を感じていただける

この機会にどうぞお訪ねください。

<茶話会>

教員を交えてざっくばらんに話ししましょう

日時：10月23日(金) 11月20日(金)

10:00～12:00

<校内見学会>

教室など校舎内を教員・事務員がご案内

日時：10月23日(金) 11月20日(金)

15:30～16:30

参加費：無料

場所：霧が丘校舎

学園にご興味・ご関心のある方はどなたでも

お越しください。お子様連れも可です。

※お子様の上履きをご持参ください。

ジョン・ピリング ライアーコンサート

日時：11月15日(日) 15:30開場 16:00開演～17:30

場所：十日市場校舎

料金：前売 2,500円(会員2,000円) 当日 3,000円(会員2,500円)

定員：70名

★小学生以下のお子さまの入場はご遠慮ください。

ご寄付ありがとうございます (8/26～9/25)

(順不同・敬称略)

星の金貨・有志(学園公開グループ、保育グループ寄付箱)

ベレ初期メンバー・地域交流グループ有志(バオババタ涼み)

～皆さまからのご寄付は大事に使わせていただきます～

☆星の金貨より☆

学園ショップでは、季節のポストカード・ハーブティー・木工品・編みぐるみ・書籍など取り揃えて皆さんをお待ちしております。

◎恒例の「くるみのアドヴェントカレンダー」申し込み開始しました。どうぞご利用ください。

お問い合わせ

e-mail:hoshi-kinka@freeml.com

ブログ

http://hosinokinka.blog100.fc2.com/



親子でむかえる「アドヴェントのつどい」

☆クリスマスを待つ聖なる時期 美しく飾られた学園をお楽しみください ☆

日時：2015年11月29日(日) 10:00～14:30

会場：横浜シュタイナー学園 霧が丘校舎

クリスマスのお話・ライアー演奏・ワークショップ・バザー・喫茶など

【同時開催】学園紹介 in 十日市場校舎 12:00～15:00

～6～9年生の学び舎である十日市場校舎を公開します～

NPO会員・NLメンバー案内

正会員・賛助会員：12,000円

ニューズレターメンバー：2,000円

継続登録、2015年度新規登録、絶賛募集中です。

詳細は事務局へお問い合わせください

学園のホームページ URL・メールアドレスが新しくなりました

お問合せ、お申込み先

横浜シュタイナー学園事務局

Tel&Fax: 045-922-3107 e-mail: gakuken-info@yokohama-steiner.jp

【会費・ご寄付等お振込先】

郵便振替： 00260-0-130702

加入者名：特定非営利活動法人横浜シュタイナー学園

ゆうちょ銀行：店番 029 支店名 029店(せのこわり店)当座 013702

NEW!!

NEW!!

横浜シュタイナー学園

Newsletter 第84号

2015年9月29日発行

編集：広報の会

発行：NPO法人 横浜シュタイナー学園

https://yokohama-steiner.jp

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目1-20

TEL/FAX 045-922-3107

※掲載内容の無断転載をお断りします